



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造
養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和6年4月25日) 第4号



学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」八鹿青溪中 HP

令和6年度全国学力・学習状況調査

4月18日(火)、全国学力・学習状況調査が行われ、3年生が国語・数学の問題を解きました。また、それに先立ち4月11日(木)にWeb方式による生徒質問調査(アンケート)があり、日常の学習習慣、生活習慣及び物事に対するさまざまな意識について各生徒が回答しました。

この一連の調査は、“全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する(文部科学省)”ために毎年行われています。要するに、教師の授業改善のために生徒に協力してもらっている調査であると私は解釈しています。よって、調査結果について生徒個人が一喜一憂するものではありませんし、生徒間や学校間で競争するものでもありません。また、マスコミ等が「全国学力テスト」と呼称しているのは、本来の趣旨からすると誤っていると言わざるを得ません。



なお、今年度の結果については9月頃にはお伝えすることができると思いますので、しばらくお待ちください。

「学力」とはなに？

では、「学力」というのは、いったいどういうものなのでしょうか？我が国では、以下の3つを“学力”として学校教育法第30条で規定しています。

- ① 基礎的・基本的な知識および技能
- ② 思考力・判断力・表現力等
- ③ 主体的に学習に取り組む態度



これを、「学力の3要素」とも呼び、教師はこの3つを生徒に身につけさせるために授業づくりをしています。

まず①ですが、これは「 $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ 」「I have never been to America」「平安時代に藤原道長が権力を握った」「『きれいだ』は形容動詞」などの知識、あるいは理科の実験、技術・家庭の作業、保健体育の剣道、音楽の合唱等における技能を指します。どちらかと言えば、“インプット”する学習によって得る力というイメージです。

いっぽう②は、身につけた①を活用してさらに深く考えたり、どうしようか判断したり、自らの考えを表現したりする力を指します。どちらかと言えば、“アウトプット”する学習によって得る力のイメージということになります。

そして、③は、①や②を得るために粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整したりする態度を指します。①②③は常に関連して成長するため、いずれかの力だけが突出するということはありません。



さて、令和6年度の八鹿青溪中学校では昨年度にひきつづき、「指導と評価の一体化のさらなる深化」をテーマにし

て授業づくりに取り組みます。これはテスト(中間テスト・期末テスト・課題テスト等)だけで学習成果を評価するのではなく、日頃の授業の中でも生徒の①②③を見取って評価していく、そして、その結果を生徒に返すだけではなく、教師自らの授業を改善していくための材料にするという考え方です。授業→評価→授業→評価→授業・・・のイメージです。この評価の積み重ねが学期末の「評定(1・2・3・4・5)」につながり、通知表によって保護者の皆様のもとへ届きます。いっぽう、教師は「評価」および「評定」を次学期以降の授業改善のために活用します。つまり、「評価」・「評定」は生徒のためだけではなく教師のためにも存在しているのです。



令和6年度学校運営協議会

4月23日(火)、八鹿青溪中学校の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により設置に努めなくてはならないとされ、学校運営への必要な支援に関して協議をさせていただきます。まず、今回の協議会の冒頭では、生徒たちの授業風景をご覧いただき、自分たちの意見を生き生きと述べる様子や楽しそうに歌を歌う様子にお褒めの言葉をいただきました。そして、協議会の中で、令和6年度の学校経営方針についてご承認をいただきました。



<令和6年度学校運営協議会名簿> たいへんお世話になります。※原則として2年任期

中島 健夫 様(会長)	高柳地区自治協議会代表	小橋千代子 様	八鹿地区自治協議会代表
維田 浩之 様	宿南地区自治協議会代表	西村 敏彦 様	小佐地区自治協議会代表
中尾 公一 様	伊佐地区自治協議会代表	密 祐興 様	PTA会長
川瀬 章 様	前PTA会長		

教職員の働き方改革～業務改善～

多忙な学校現場の現状がよく新聞等で報道されますが、八鹿青溪中学校もその例外ではなく、朝早くから夜遅くまで各教職員が懸命になって働いています。ちなみに、八鹿青溪中学校の正式な勤務開始時刻は8時05分です。また、正式な勤務終了時刻は16時35分です。しかしながら、生徒の登校までに出勤しようと早めに出勤する者が少なくないですし、部活動、家庭訪問、教材研究、PTA 活動をはじめさまざまな業務のために夜遅くまで退勤できないケースもあります。学校はどうすれば教職員の超過勤務時間を減らす(教員の働き方改革～業務改善～)ことができるかを思案していますが、解決のためには保護者の皆様のご理解やご協力が必要な面もあります。例えば、学校への提出物については期限を確実に守っていただくようにするとか、集金の際にはおつりの必要がないようにご準備いただくようにするとか、些細なことが実は教員の負担軽減につながっています。



また、保護者や地域の方による理不尽な要望や威嚇的行為に悩まされている学校も世間には少なくありません。集団ではなく我が子のことしか考えずに意見を述べたり、都合も聞かずに学校へ怒鳴り込もうとしたりすることによる教職員の精神的負担は深刻な問題であり、正常な学校運営を妨害するものであると言わざるを得ません。現在の八鹿青溪中学校ではこのようなケースは稀ですが、今後も本校の教職員を温かく支えていただければ幸いです。